

Frente

フレンテ

フレンテとはスペイン語で
「前向き」という意味です。

vol.46
2011.7

予告

今年の夏は、パパもママも子どもも
みんなで楽しもう!

イクメン応援フェア!

フレンテみえエンパワーメント・スクール
夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃんへ
幸せな人生のつくり方

Report

男性講座

カッコイイじいじになろう!
～ソフリエ資格を取って地域デビュー～

ご存知ですか?“乳がん”のこと
ピンクリボンセミナー

フレンテまつり

上野 千鶴子さん講演会
夢みるゆめ子ちゃんと
壁ぶちあたり子ちゃん

統計でみる三重の男女共同参画
ピックアップ
三重の女子は働きやすい?!

仕事を楽しむ、
暮らしを楽しむ。

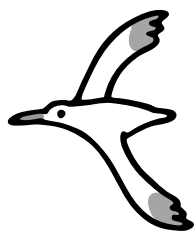
スペシャル
インタビュー

「玄牝」
河瀬直美 監督

三重そとぶんシネマスクエア 2011

コラム

シリーズ 女性と健康③
働く人のメンタル・ヘルス ①



今年の夏は、パパもママも子どももみんなで楽しもう

フレンテみえ、イクメン応援中!

イクメンって
一体なあに?

「イクメン」が増えると、社会が変わる?

イクメンとは「育児をするメンズ(男性)」の略語で「子育てを楽しみ、自分自身も成長する」パパ達のこと。

共働き世帯が年々増加している今の社会において、男性が育児に積極的に参加することは、妻である女性の生き方、子どもたちの可能性、家族のあり方を変え、そして社会全体の成長を担う力となっています。

国の第3次男女共同参画基本計画では取組の重点分野として、「男性、子どもにとっての男女共同参画」を掲げています。その中で「男は仕事、女は家庭」など“固定的性別役割分担意識の解消を図るとともに、長時間労働の抑制等働き方の見直しにより、男性の家庭生活や地域生活への参画を進める”とあります。

育児休業制度の改正や、ワーク・ライフ・バランスの促進、ダブルインカムを支援する様々な制度など、職場から、地域から、家庭から社会を動かす取組が始まっています。



8.28(日) イクメン応援フェア! 開催決定

「育児にもっと関わりたいけど、どうしたらいいの?」「親子で楽しめるイベントを探しているんだけど…」というパパ達のためのイベントを開催します!

子どもたちに人気の絵本をメロディにのせて歌う「えほんうたライブ」で全国行脚中の西村直人さんによる「えほんうた・遊びうたライブ♪」や県内で活動している男性のグループによる3つのイクメン応援ワークショップ、ママのリラックススペースや「ソフリエ三重」参加企画など盛りだくさん!

今年の夏は、パパと子ども(ママも参加できますよ!)で楽しい思い出をたくさん作りましょう!

知って! キーワード!

育児休業制度の改正って?

育休期間が延長される「パパ・ママ育休プラス」制度が導入された、改正育児・介護休業法が2010年6月30日に施行。男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しています。

ワーク・ライフ・バランスって?

男女がともに人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らの希望に沿った形で、展開できる状態のこと。

ダブルインカムって?

一つの世帯において2名以上が収入を得ている状態(共働き世帯)のこと。



情報コーナーに 絵本スペースができました!

4月から、情報コーナーに座って絵本が読めるスペースができました。『ライオンのよいいちにち』(作: あべ弘士)など人気の絵本も揃ってます。



三重県総合文化センターこどものおまつり

7.31(日) M祭!2011

いっしょに! たいしょに! はっしょに!
そうぶんサマースクール

今年は、そうぶんが学校になります! サイエンスや音楽、歴史や読書に工作など、いろんな分野が楽しく体験できます。夏休みの一日を、家族みんなで楽しく学びましょう!

フレンテブース「カガクで遊ぼう! わたしも、ぼくも研究者!」では、マリー・キュリーのノーベル化学賞受賞から100年を記念して、女性の研究者と一緒に実験とワークを開催します!

協力: 三重大学

イベント
メモ

エンパワーメントとは...

講師に上野千鶴子さんをお迎えし、それぞれの人生のターニングポイントに、これからの自分の人生を自分で選択していくためのお話をさせていただきました。上野さんの講演内容から一部をご紹介します!

「おひとりさまへ」
ようこそ、おかえりなさい!

『おひとりさまの老後』(法研・2007)は、もともと「負け犬」である自分のために書いたような本です。「負け犬」というのは作家の酒井順子さんが作った言葉で、「夫なし・子なし・30歳代以上」の人のことを指します。これから、子どもに頼ることを出来ない老後を迎える。それをどう過ごしていけばいいかっていう、自分自身のために書いたようなものだったんです。ところが、それに共感してくださる方がたくさんいた。私のようにならずとシングルの方だけじゃなくて、お連れ合いと離別・死別された「シングル・アゲイン」のおひとりさまが思いのほかたくさんいらっしゃったのです。私くらいの年代になりますと、続々とこういう方々が出てきます。人生の中で結婚が非婚かの別々の道を歩んできたのは、ほんの一時のもの。「おひとりさまによつこそ、おかえりなさい」というような気持ちでこういう「シングル・アゲイン」の方たちをお迎えしております(笑)

夢みるゆめ子と壁ぶちあたり子

いつか素敵な恋をして、私の人生をガラポンとリセットしてくれる男性が現れると信じている。その男性をひたすら待つ、待機の間を過ごしている「夢みるゆめ子ちゃん」な「アラフォー」の人たちがたくさんいます。いつリセットボタンを押すことになるかもわからないのでライフプランが立てられない。このアラフォー世代は少子高齢化の先駆けです。晩婚化・非婚化・少子化。さらにパラサイト・シングルが多い。親も、そういう娘を許容している。最近では、一人だけ子どもを持つなら娘のほうがいいという親が増えていきます。介護要員としての娘の期待値が上がってきてるんです。娘のほうも、打算があつて、帰ったら、据え膳上げ膳。主婦つきオヤジライフですね(笑)親の思惑と娘の打算のマッチングでも、私は今日の若い女性をみると「大変だね」という気持ちになります。学歴やいい会社に入ることも望まれ、親の期待を背負って息子同様の社会的な成功を手に入れなきゃいけない。息子だったらそれだけでいいが、娘は女としての幸せも同時に手に入れなきゃいけない。彼女たちは二重の負担を背負って押しつぶされそうになっています。

6/4(土) 上野千鶴子さん講演会

「人生のターニングポイント」夢と現実の間で

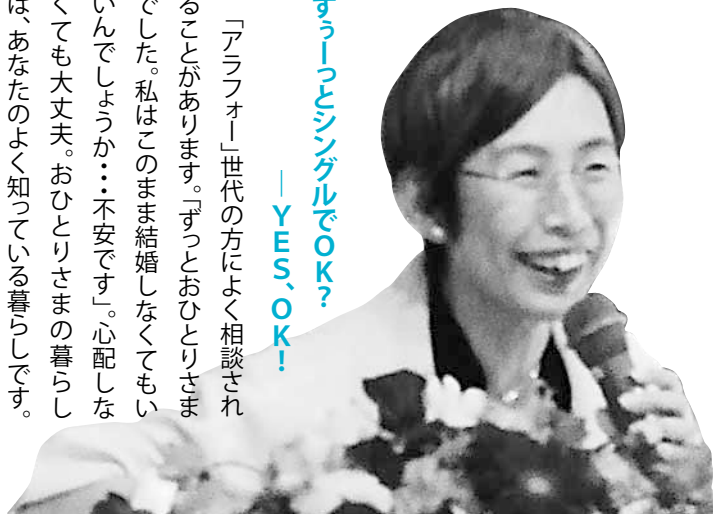
夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃん

生き方を自分で選択し、つながっていく

ずうっとシングルでOK?

— YES, OK! —

「アラフォー」世代の方によく相談されることがあります。「ずっとおひとりさまでした。私はこのまま結婚しなくてもいいんでしょうか?不安です」。心配しなくても大丈夫。おひとりさまの暮らしは、あなたのよく知っている暮らしです。そして、多くの人に必ず来る暮らしです。自分のお金や住まい、時間、そして自分が自分で居られる仲間など「おひとりさま資源」を持つておけば大丈夫。おひとりさまはずっとつるんできました。なぜなら、弱者だったからです。私たちがこれから作ろうとする社会は、強者になって生き残る社会じゃない。大震災があつて誰かいつ弱者になるのかわからないと皆が気付きました。弱者になつても、安心できる社会が必要です。弱者はつるみ、助け合い、支え合います。誰もが安心して弱者になれる社会を、女性も男性も繋がり合つて作っていくことが大切なのです。



ここからもう一步!

現在フレンデみえ エンパワーメント・スクール 夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃんへ～幸せな人生のつくり方～申込受付中!詳しくはP6をチェック!

男女共同参画 フォーラム 2011

迷いながらもわたしが決める
わたしの働き方・生き方

11月12日(土)開催!

男女共同参画フォーラム2011では「働き方、生き方」が多様化するなかで、将来をみすえ、自分らしく自立した「オトナ」になるために必要なことを考えます。

対談

堂本 暁子さん
(ジャーナリスト、元千葉県知事)

湯浅 誠さん
(反貧困ネットワーク事務局長)



力をつけること。政策・方針決定の場に参画できる能力を身に付けること。また、それによって個人が力を持った存在になること。

HPでも特集中!

河瀬 直美 監督 インタビュー

三重そうぶんシネマスクエア 2011

今年のフレンテセレクションは「玄牝（げんぴん）」
監督の河瀬直美さんに、お話をうかがいました！

— 監督は奈良県のご出身とのことですが、学生時代はどのように過ごされていましたか？

中学時代は実は“ヤンキー”でした。たぶん、ヤンキーが流行ってたんだと思います（笑）。

高校時代はバスケット部の主将で、1日5食、朝から晩までバスケー色という毎日でした。

— スポーツ中心の高校生活から、映画を撮ろうと思った「きっかけ」は？

生涯続けられる仕事につきたかったから、というのが大きな理由です。高校卒業後の進路について、中学時代から続けているバスケットボールで体育大学の推薦入学を薦められていたのですが、ふとこれは何歳まで続けられるんだろうと、素朴な疑問がわたしの脳裏をかすめました。「よーがんばって30歳かな・・・」それを思うと、あとの人生は何をするんだ？と、とてつもなく不安になりました。現役でなくなることは、私にとっては非常につらいことです。生涯現場に立っていられる仕事に就こう！そして、それが「ものづくり」だということに、はたと気付きました。80歳になっても90歳になっても、ものをつくりつづけよう！かくして、私は映画の道を突き進むことになりました。

— 世界的にも女性監督はまだ少ないと思いますが、その現状についてどのように感じていますか？

子どもを産み育てる機能をもった女性としては、作品はもうひとつの子どものような存在なので、同時にそれをするとはたいていの場合、無理を強いることになります。当然、男性の方が、自由に映画制作に携われるということが言えるでしょう。しかし、女性特有のおおらかさで、周囲への協力を得られれば、この大きな仕事を両立させることは、可能だと思っています。現に私がそうです。

— 今回、三重そうぶんシネマスクエア2011で上映する「玄牝」の企画はどのように生まれたのでしょうか？

私が通っている鍼灸の先生から、「吉村医院のことを記録に残したい」という別の患者さんを紹介されたのがきっかけでした。

私はこれまで、自分の企画で映画を作ってきたので、正直、依頼を受けてドキュメンタリーを取るのには難しいかなと。

ただ、医療が中心になって行われるお産の現状には違和感を持っていたし、私自身自然分娩で長男を生んでいたの、吉村先生が話していることに共感する部分と、個人的な興味があったので、一度、先生に会ってみようという岡崎を訪問することにしました。最初はカメラも持たずに話しに行って、戸外で先生と一緒にお酒を飲んだのですが、先生も、私たちに取材陣という以上の感触を持ってくれたのか、オープンな感じで……。

あと、院内にある古屋の前の射している光がとてもよくて、もう一度、ここに来たいと思ったんです。

生涯、現場に立っていられる仕事に就きたかった。

— いつも作品のタイトルは脚本ができる前、最初に決定されるそうですが、今回の「玄牝」もそのようにされたのですか？ 普段の生活からはなかなか思いつかない言葉かと思っています。いつ、どのようにご自身と係わった「言葉」なのでしょう。

これは、吉村さんに学びました。その後、老子を熟読したいと思い、現在トライしています。

— 監督のこれからの活動予定（作品の制作予定など）についてお聞かせください。

年内に養母に関するドキュメンタリーを完成させる予定です。これは、フランスのテレビ局との共同制作です。また、フィクションでは「女優」をテーマに作品を創りたいと思っています。

地元では、なら国際映画祭を継続させるべく、様々なプロジェクトを展開中です。

- ナラティブプロジェクト
- アートナイト
- 子供映画ワークショップ
- 311センスオブHOMEプロジェクト

等、詳しくは「なら国際映画祭HP」を参照してください。

年内にロシア、メキシコ、パリ、インド、イスラエル、へ行く予定です。すべて、回顧展、および「朱花の月」の上映に伴うものです。

— 最後に、三重のみなさんにメッセージをお願いします。

忍者屋敷に中学の時にいった思い出があります。あと、ばくざん先生が大好きでした。

伊勢神宮はすばらしい場所です。

松阪牛や伊賀焼、すばらしい文化と食もあります。その土地に根差した、宝物さがしをしてください。探し出した宝物を是非教えてください。

(※) 故・榊莫山（さかさばくざん）：伊賀市出身の書家

9/25『玄牝』上映！
河瀬直美監督のゲストトークもお楽しみに！



河瀬 直美 監督
Naomi Kawase

(C) KUMIE Inc.

映画作家。奈良市生まれ。大阪写真(現ビジュアルアーツ)専門学校映画科卒業。初の劇場映画「萌の朱雀」(97)で1997年カンヌ国際映画祭カメラドール(新人監督賞)を史上最年少受賞し、鮮烈なデビューを果たす。その後国内外の映画祭での受賞を重ねる。「殢の森」は2007年カンヌ国際映画祭でグランプリを受賞。2010年より「なら国際映画祭」を開催。エグゼクティブディレクターを務める。2011年カンヌ国際映画祭に、奈良・飛鳥地方を舞台に古代～現代を描いた最新作『朱花(はなづ)の月』が正式招待を受ける。9月3日より全国順次公開。公式ホームページ: <http://www.hanezu.com/>

三重そうぶん
シネマスクエア
2011

9/23 金 ~ 9/25 日 \映画をもっと楽しもう!\

三重県総合文化センターで毎年秋に実施している映画祭「そうぶんシネマスクエア」が今年も9/23~25の3日間、「フレンテみえ」多目的ホールを中心に開催されます。例年「フレンテ・セレクション」として自分らしさや女性の視点で描かれた作品をお贈りしていますが、今年は河瀬直美監督のドキュメンタリー作品、「玄牝（げんぴん）」をセレクトしました。

玄 げんぴん
牝



(C) KUMIE Inc.

舞台は愛知県岡崎市にある吉村医院。木々の生い茂る森の中にあるこの産科医院には「自然に子を産みたい」と願う妊婦たちが全国からやって来ます。産院の裏庭に移築した江戸時代のかやぶきの古民家で薪割りなど昔ながらの労働に汗を流すことや一汁一菜の素朴な食事などを通して、妊婦たちは出産に向けた心とからだづくりの大切さを感じながら、「その時」を迎える準備をしています。作品は、それぞれの事情や想いを抱え医院に集う女性たちとその家族、2万例以上のお産に立ち会ってきた吉村正院長や医院のスタッフに、監督自らが16mm フィルム・カメラを向けて撮影されました。

新しい命を育み迎える人たちの強さ、美しさ、葛藤、それらを包む緑、めぐる季節。万物を生み出す源＝「神秘なる母性」と老子が呼んだ言葉をタイトルに掲げ、自然分娩の現場を通して生命の神秘のありようを真摯に捉え表現したこの作品は、スペイン・サンセバスチャン国際映画祭で国際批評家連盟賞、ノースカロライナ州リバーラン国際映画祭では最優秀撮影賞を受賞しています。

県内では上映機会の少ない「玄牝」。

この機会にぜひ、スクリーンから溢れる「命の輝き」を体感してください！

河瀬監督、来館決定！

「玄牝」上映に合わせ、9/25（日）に河瀬直美監督が来館！ゲストトークへの出演が決定しました！作品や映画制作の現場についてなど、監督から生のお話をたっぷり伺えます！また、そのアフタートーク後に「シネマカフェ」（人数限定）の開催も決定！監督ともしっと身近にお話ができるかも。

その他、関連企画として、昨年大好評だった「限定ランチマーケット」（女性オーナーたちによる人気カフェなどが特別出店！今年は映画チケットをお持ちでない方でも大丈夫！）や、「ピンクリボンブース」、「日本助産師会三重県支部による関連展示」なども同時開催予定！こちらもぜひお見逃しなく！

自分のからだを
見つめ直す

終了した事業のご報告

Report

5/14 土

ピンクリボンセミナー
ご存知ですか？「乳がん」のこと

共催：株式会社 パナソニック

協力：公立大学法人三重県立看護大学、
三重県健康福祉部



▲ピンクリボンストラップ作成の様子

私たちが健康的な毎日を過ごすため、「乳がん」検診の大切さや、乳がんの正しい知識を得ることを目的に開催しました。講座では「女性は年齢によりホルモンの分泌量が変化することで健康課題を抱える人が多く、乳がんの発生・増殖もこれに影響されることが多いのです。乳がん予防は、まず自分の体は自分で守るという姿勢が大切。生活・食習慣改善等での予防や、マンモグラフィや自己検診による「がん」の早期発見も重要です。」とのお話がありました。また、県立看護大学の先生によるハンドマッサージを受けながらの健康相談は大変好評でした。その他に、ピンクリボンの携帯ストラップや折り紙を作りながら参加者同士の交流と自分の体のことを考える時間を持つことができました。参加者からは「乳がんのことが良く分かった。自分のことは後回しにしていたが、早速乳がん検診に行きたい」等の感想がありました。（担当 T）

第3次男女共同参画基本計画でも重要視されています！生涯を通じた女性の健康支援

男女が互いの身体的特性を十分に理解し、認識を深めることが重要です。心身の健康について正確な知識・情報を得ることは、主体的に行動し、健康に生きていくために必要です。特に、女性は妊娠や出産をする可能性もあるなど、生涯を通じて男女は異なる健康上の問題に直面することに男女ともに留意する必要があります。「リプロダクティブ・ヘルズ/ライツ」（性と生殖に関する健康と権利）の視点が重要です。こうした観点から、子どもを産む・産まないに関わらず、また、年齢に関わらず、すべての女性の生涯を通じた健康や、男女の性差に応じた健康を支援するための総合的な取組を推進しています。

フレンテまつり2011 アピール

1. 私たちは、あらゆる分野にジェンダーの視点を持って活動していきます。
2. 私たちは、防災分野における女性の参画の拡大、災害対応など現場における男女共同参画の推進を図るとともに、男女共同参画の視点に立った東日本大震災の被災者支援、復興支援、応援をしています。

2011年 フレンテまつり実行委員会



東日本大震災
女性センター
ネットワーク募金へ
寄付しました!

フリーマーケットの売上やワークショップ会場で行った募金活動で

合計 80,506 円の支援金が集まりました。

この支援金は、NPO 法人全国女性会館協議会が実施する「東日本大震災女性センターネットワーク募金」を通して被災者の皆さんを応援・支援している「全国の女性関連施設の活動を支援する」ために役立てられます。皆さま、ご協力ありがとうございました。

Report
6/3 金, 4 土

フレンテみえ登録団体の活動発表

フレンテまつり

今年も大盛況でした!

お越しいただいた皆さまありがとうございました!

フレンテみえでは、内閣府の主唱する男女共同参画週間 (6/23 ~ 6/29) にちなみ、6月を「男女共同参画強調月間 *ff*」として、様々な事業を行っています。

8年目の今年は43団体が参加し、2日間にわたって舞台発表、フリーマーケット、活動展示、ワークショップを開催しました。それぞれのブースでは参加者同士の交流が盛んに行われ、大勢の来館者たちで賑わいました。東日本大震災での災害ボランティアの展示も行い、災害時における男女共同参画の視点の必要性についても考える機会となりました。

(担当 H)

実行委員会企画

「男女共同参画メッセージ展」「男女共同参画の“おもい”発表」エントランスでは、団体のメッセージ展示を行うと共にそれぞれの団体がマイクを持ち、男女共同参画への“おもい”を発信しました。

Report
5/15 日, 22 日

男性講座

カッコイイじいじになろう!
～ソフリエ資格をとって地域デビュー～

定年世代の男性を対象に、
家事・育児やこれからの地域参画を目的に開催

1 日目には「①親の方針が絶対、②親とのコミュニケーション、③育児を楽しむこと」というソフリエ・ルールの確認と、実習を行いました。参加者は、講師の指導のもと、人形を抱きかかえながら抱っこや入浴の練習をしました。2 日目には、「なぜ今“ソフリエ”が必要なのか」「今後地域で活躍するためのライフプラン作り」などを含む講義の後、ソフリエ資格認定式を行いました。その後、ソフリエとしての決意を新たに「ソフリエとして今後どう活動していくか」を参加者同士で話し合いました。



講座後の 6/4、第 1 回ソフリエ三重の会合を行いました!

8/28 イクメン応援フェアで、じいじ達による楽しい企画を準備中です。どうぞお楽しみに! (担当 Y)



グループ
「ソフリエ三重」
発足しました!





働く人の メンタル・ヘルス ①



執筆者 三重県立こころの医療センター

臨床心理士 仲世古 裕子 さん

技術革新の進展や社会情勢のめまぐるしい変化は、働く人たちの環境にも大きな変化をもたらしています。また、核家族化や高齢化といった傾向も、仕事と育児・介護との両立といった課題をもたらしています。現代は「ストレス社会」といわれ、ストレスの蓄積によるこころの不調に悩んでいる人は決して少なくありません。

ストレスはいろんな病気を招きます。代表的なものがうつ病です。気分が落ち込み、何をやっても楽しくないし、何もする気が起きない…。こういったことは誰にでも起こりますが、大抵は一時的なことです。しかし、こうした状態（抑うつ状態）がいつまでも続いてなかなか回復せず、日常生活に支障が出たり、本人がづらい思いをしたりするようになる場合があります。これがうつ病です。女性の場合は、産後や更年期などホルモンバランスの変化をきっかけに、うつ病になることもあります。

うつ病の治療は、休養と薬物療法を基本とした治療を早めることが大切です。そのためにも、こころの不調がどのような形で表れるのかを知っておくことは有効でしょう。こころの不調は大きく分けて3つの変化に表れます。まず、イライラしやすい・口数が減る・つきあいが悪くなる等、言動や態度の変化。次に、集中しにくい・仕事の能率が落ちる・ミスが多くなる等、仕事面での変化。最後に、眠れない・食欲がない・体がだるい等、からだの不調。こうした変化が半月〜一ヶ月以上続くようなら要注意です。朝や休日あけに調子が悪そうにみえる・遅刻や欠勤が急に増える、といったこともサインの一つでしょう。

心身が疲れている状態は自分では気づきにくいものです。ですから、周囲の人が変化に気づくことも大切になります。様子をうかがうときには、「どこか体の調子が悪いの?」と、精神面ではなく身体面を心配しているような声かけの方が、聞かれた側の抵抗感が少ないでしょう。

次号情報誌Frente vol.47 (10月20日頃発行) では、働く人のメンタル・ヘルス②を掲載予定です。どうぞお楽しみに!



フレンテみえ
エンパワメント・
スクール2011
夢みるゆめ子ちゃんと
壁ぶちあたり子ちゃんへ

幸せな人生の つくりかた

日程 **9/3,17 10/8,22**
(4日間全6回 いずれも土曜日)

対象: 20~30代くらいの女性でこれから
結婚・出産などのライフイベントを
迎える方、これからの働き方や生き方
を考えたい方

受講料: 6,000円

共催: (公財) 日本女性学習財団

自分の生き方を
考えたい
あなたへ

“自分ライフを豊かにする”
お楽しみも企画中!

講座で、気の合う仲間に
出会えるかも!?

幸せになりたい
女子におくる
自立したライフプラン
の描き方

「私って“結婚”するのかなあ (いつか王子様が…?)」

「子ども産んだりするのかな (今までのキャリアってどうなるの?) …」

「私 これから、どう生きていくんだろ…」

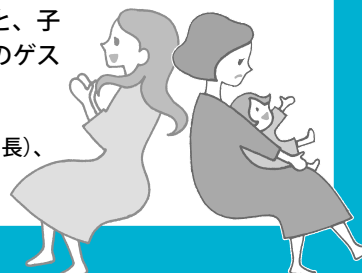
講座内容をピックアップ!

講座では、ワークやグループセッションを通して現在の社会状況を客観的に学び、これまでの“わたし”や今の“わたし”を取り巻く人間関係・自分のキャリアを見つめ直し、今後の自立したライフプランを考えます。

また、継続して働くことや転職・キャリアアップのこと、子育てしながら働くこと…など様々な経験をされた先輩のゲストトークも予定しています。

講師: 大槻奈巳さん (聖心女子大学准教授、キャリアセンター長)、
片山公子さん (公益財団法人日本女性学習財団専門職)、
濱口和美さん (キャリアカウンセラー)

※詳細はホームページをご覧ください!



三重県の女性は働きやすいと思う??

	そう思う	そう思わない	わからない	不明・無回答
全体(N=2,558)	24.4	46.2	23.8	5.6
男				
20歳代(N=101)	29.7	36.6	30.7	3.0
30歳代(N=151)	31.8	44.4	23.2	0.7
40歳代(N=196)	32.7	45.9	19.9	1.5
50歳代(N=197)	37.6	40.6	18.8	3.0
60歳代(N=269)	29.7	43.5	21.9	4.8
70歳以上(N=221)	29.4	31.2	26.2	13.1
女				
20歳代(N=162)	25.9	48.8	23.5	1.9
30歳代(N=180)	16.7	65.6	16.7	1.1
40歳代(N=227)	11.9	65.2	22.5	0.4
50歳代(N=271)	19.9	57.2	19.2	3.7
60歳代(N=297)	19.9	45.5	27.9	6.7
70歳以上(N=216)	17.6	27.3	35.6	19.4

平成22年度男女共同参画に関する県民意識と生活基礎調査(三重県)より 単位: %

性・年代別でみると「働きやすいと思う」と答えた人の割合は、男性の50歳代(37.6%)が最も高くなっています。「働きやすいと思わない」と答えた人の割合は、女性の30歳代(65.5%)が最も高く、女性の40歳代(65.2%)が続いています。

「働きやすいと思わない理由」は?

20歳代女性

- 1位「保育施設が整備されていないから」
- 2位「結婚・出産退職の慣行があるから」
- 3位「労働条件が整っていないから」

30歳代女性

- 1位「保育施設が整備されていないから」
- 2位「労働条件が整っていないから」
- 3位「働く場が限られているから」

40歳代女性

- 1位「労働条件が整っていないから」
- 2位「保育施設が整備されていないから」
- 3位「働く場が限られているから」

50歳代女性

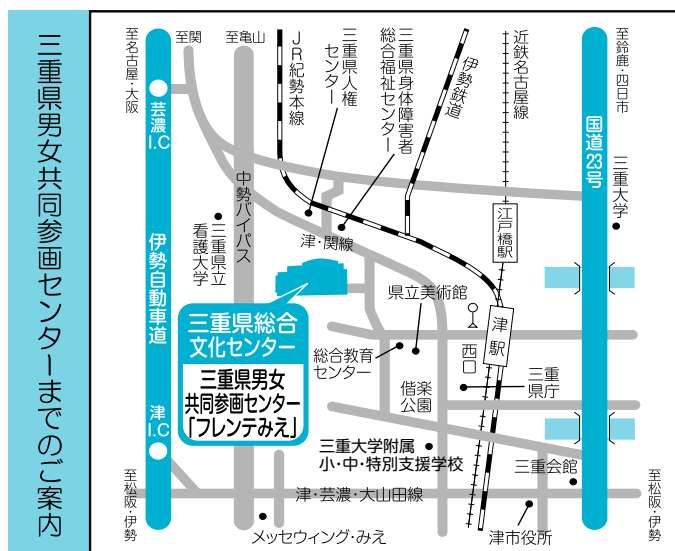
- 1位「労働条件が整っていないから」
- 2位「働く場が限られているから」
- 3位「保育施設が整備されていないから」



共働き世帯やおひとりさま世帯が増えているなか、一人ひとりのライフスタイルに対応できる働き方や環境の整備が必要だね。

男女雇用機会均等法施行から25年...

昭和61年4月の施行から25年が経過しました。この四半世紀の間、少子高齢化の進行や社会経済のグローバル化等私達を取り巻く状況は大きく変わってきましたが、均等法も数回にわたる法改正を経て、その内容が充実・強化されてきました。今年は、これまでの軌跡を振り返るとともに今後の課題を整理し、新しい四半世紀をスタートさせる契機の年です。(参考:「共同参画」第35号)



休館日

毎週月曜日
年末年始
(12月29日から
1月3日まで)

交通

- バス/津駅西口1番のりばから約5分
 - 徒歩/津駅西口から約25分
 - 自転車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
- ※新県立博物館建設工事のため駐車場が一部使用できません。
駐車場の混雑が予想されます。なるべく公共交通機関でお越しください。

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

三重県男女共同参画センター フレんテみえ

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

TEL: 059-233-1130 FAX: 059-233-1135

URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>E-mail: frente@center-mie.or.jp

夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃん

ゆめ子とぶち子 2

